【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年6月7日(2022.6.7)

【公開番号】特開2021-122384(P2021-122384A)
【公開日】令和3年8月30日(2021.8.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-040
【出願番号】特願2020-16271(P2020-16271)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６５３
Ａ６３Ｆ　5/04　６２０

【手続補正書】
【提出日】令和4年5月27日(2022.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ゲームの実行に対応して変動可能な変動表示手段と、ゲームの実行に対応して遊技者に対して特典を付与するか否かを決定可能な決定手段と、前記決定手段の決定結果に関連して演出を実行するようにした遊技機において、
遊技者が操作可能な特定の操作手段と、
前記演出として第１の演出を実行する第１演出手段と、
前記第１演出手段よりも前記特定の操作手段に近い位置、かつ、前記変動表示手段よりも下方に備えられ、前記演出として第２の演出を実行する第２演出手段と、
を備え、
前記第１演出手段は、
前記特定の操作手段の操作を伴う操作演出の実行に関連して、複数の演出態様のうちの特定の演出態様により前記第１の演出を実行可能とし、
前記第２演出手段は、
前記操作演出の実行に関連して前記第２の演出を実行可能であって、前記第１の演出よりも、当該遊技機で遊技する遊技者以外の遊技者が認識困難に前記第２の演出を実行可能に構成され、
前記第１の演出よりも記特典が付与されるか否かに対する信頼度が高い演出を前記第２の演出として実行可能とする
ことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記決定手段の決定結果に基づき所定の演出手段において演出を実行させる演出制御手段と、
を備え、
前記決定手段は、
遊技者に対して第１の特典を付与するか否かを事前に決定可能な第１決定手段と、
遊技者に対して第２の特典を付与するか否かを事前に決定可能な第２決定手段と、
を備え、
前記演出制御手段は、

前記第１決定手段が前記第１の特典を付与することを事前に決定したことに基づき、前記第１の特典を付与する前の所定期間において、前記演出として事前演出を実行させることが可能な事前演出制御手段と、
前記第１決定手段が前記第１の特典を付与することを事前に決定していない場合における所定条件の成立に基づき、所定期間において、前記演出として外れ事前演出を実行させることが可能な外れ事前演出制御手段と、
を備え、
前記外れ事前演出制御手段は、
前記外れ事前演出を実行させる前に、前記第２決定手段が前記第２の特典を付与することを事前に決定した場合に、予め決定されている遅延期間を挟んだ前記第２の特典の付与時期が、前記外れ事前演出の実行予定期間中であったとしても、前記外れ事前演出を実行させる制御を継続可能な外れ事前演出継続制御手段を備えた
ことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記外れ事前演出継続制御手段は、
前記予め決定されている遅延期間を挟んだ前記第２の特典の付与時期が、前記外れ事前演出の実行予定期間中であった場合における所定条件の成立に基づき、前記外れ事前演出を実行させる制御を継続可能とした
ことを特徴とする請求項２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記演出制御手段は、
前記外れ事前演出中に前記第２の特典を付与する場合に、前記外れ事前演出中に実行される特定演出と同様の演出を実行させることが可能な特定演出制御手段を備えた
ことを特徴とする請求項２または請求項３に記載の遊技機。
【請求項５】
前記外れ事前演出継続制御手段は、
前記外れ事前演出の演出態様を、予め決定されている外れ事前演出の演出態様とは異なる演出態様に変更可能とした
ことを特徴とする請求項２～請求項４の何れか一項に記載の遊技機。
【請求項６】
前記演出制御手段は、
前記第２決定手段が前記第２の特典を付与することを事前に決定したことに基づき、前記第２の特典を付与する前の所定期間において、前記演出として連続演出を実行させることが可能な連続演出制御手段と、
前記第２決定手段が前記第２の特典を付与することを事前に決定していない場合における所定条件の成立に基づき、所定期間において、前記演出として外れ連続演出を実行させることが可能な外れ連続演出制御手段と、
を備え、
前記外れ連続演出制御手段は、
前記外れ連続演出を実行させる前に、前記第１決定手段が前記第１の特典を付与することを事前に決定した場合に、予め決定されている待機期間を挟んだ前記第１の特典の付与時期が、前記外れ連続演出の実行予定期間中であった場合には、前記外れ連続演出を実行させる制御を不能化可能な外れ連続演出不能化制御手段を備えた
ことを特徴とする請求項２～請求項５の何れか一項に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】

上記課題を解決するために、本発明の遊技機は、ゲームの実行に対応して変動可能な変動表示手段と、ゲームの実行に対応して遊技者に対して特典を付与するか否かを決定可能な決定手段と、前記決定手段の決定結果に関連して演出を実行するようにした遊技機において、遊技者が操作可能な特定の操作手段と、前記演出として第１の演出を実行する第１演出手段と、前記第１演出手段よりも前記特定の操作手段に近い位置、かつ、前記変動表示手段よりも下方に備えられ、前記演出として第２の演出を実行する第２演出手段と、を備え、前記第１演出手段は、前記特定の操作手段の操作を伴う操作演出の実行に関連して、複数の演出態様のうちの特定の演出態様により前記第１の演出を実行可能とし、前記第２演出手段は、前記操作演出の実行に関連して前記第２の演出を実行可能であって、前記第１の演出よりも、当該遊技機で遊技する遊技者以外の遊技者が認識困難に前記第２の演出を実行可能に構成され、前記第１の演出よりも記特典が付与されるか否かに対する信頼度が高い演出を前記第２の演出として実行可能とする構成とした。